

四島のかけ橋

第48号
平成23年1月1日
(土曜日)

発行所
北方領土返還要求運動
神奈川県民会議
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL 045-210-1111 内線3618
発行人 綾井 祐一

第26回県民大会を開催

会場は横浜情報文化センター

北方領土返還要求運動神奈川県民会議(会長 田島信一)神奈川県民会議長 加藤四十三(副会長)は、昨年十一月二十九日(月)午後六時より、横浜市中区日本大通十一「横浜情報文化センター」情文ホールにて、第二十六回北方領土返還要求運動神奈川県民大会を開催した。出席者百五十九名。

北方領土返還要求運動神奈川県民会議(会長 田島信一)神奈川県民会議長 加藤四十三(副会長)は、昨年十一月二十九日(月)午後六時より、横浜市中区日本大通十一「横浜情報文化センター」情文ホールにて、第二十六回北方領土返還要求運動神奈川県民大会を開催した。出席者百五十九名。

2月7日(月)は「北方領土の日」

毎年、二月七日は「北方領土の日」です。これは、北方領土問題に対する国民の関心と理解を深め、全国的な北方領土返還運動の一層の推進を図るため、昭和五十六年一月六日の閣議了解により定められました。

「ロシア・双頭政権は北方領土問題をどう考えているか」(講演要旨)

杏林大学教授 斎藤元秀氏

去る九月七日、中国魚船が日本の領土の尖閣諸島周辺水域で海上保安庁の巡視船に体当たりしました。驚いているところに、九月下旬にメドヴェージェフ大統領が訪中し、中ロ両国が戦略的なパートナーシップを全面的に深化させることを盛り込んだ共同声明を発表し、世界に向けて中露の連帯をアピールしました。さらに十一月一日には、ヴェトナムのハノイで開催されたASEAN(東南アジア諸国連合)閣連会合に出席した後、帰路メドヴェージェフ大統領が、サハリンで飛行機を乗り換えて、悪天候について短時間ながら口

シアの歴代の指導者として初めて国後島を訪問しました。わが国周辺が騒がしくなっており、日本外交は岐路に立っています。

北方領土の現状

さて、北方四島の現状はどのようなものになっているのでしょうか。日本は択捉島、国後島、色丹、歯舞の四つの島を北方四島と呼んでいます。一方、ロシア人は北方四島を南クリールと呼んでいます。一番大きな島は択捉島で、国後島も面積は沖繩本島より大きいです。私もビザなし訪問で訪れたことがあります。トラバガニ、サケ、マスなどがこれ国後島には温泉もあります。北方四島には現在、一万七

千人ほどのロシア人が住んでいます。ウクライナ系が多く、日本が戦争に負けたときに、ソ連政府から北方四島ではいい生活が待っている、ソ連政府が特別手当を出しますなど言われ、四五年からロシア人が住み始めたのです。日本人は住んでいません。全員追い出された。北方領土には日本人墓地があります。日本人はビザなし訪問でしか行けません。今回、国後島を訪れたメドヴェージェフ大統領は「ここはロシアの美しい土地だ」と言いました。プーチン政権になってから、北方領土には日本人がまったく住んでいないこと。第二次世界大戦後、北方領土から追い出された。北方領土から追いついた。この条約では択捉、国後、歯舞、色丹は日本領、ウルップ島より北の千島列島は

北方領土問題理解のポイント

北方領土問題を理解する上で重要なのは、日本と帝政ロシアが一八五五年に結んだ最初の条約で、日魯通好条約と呼ばれています。この条約では択捉、国後、歯舞、色丹は日本領、ウルップ島より北の千島列島は

灯台

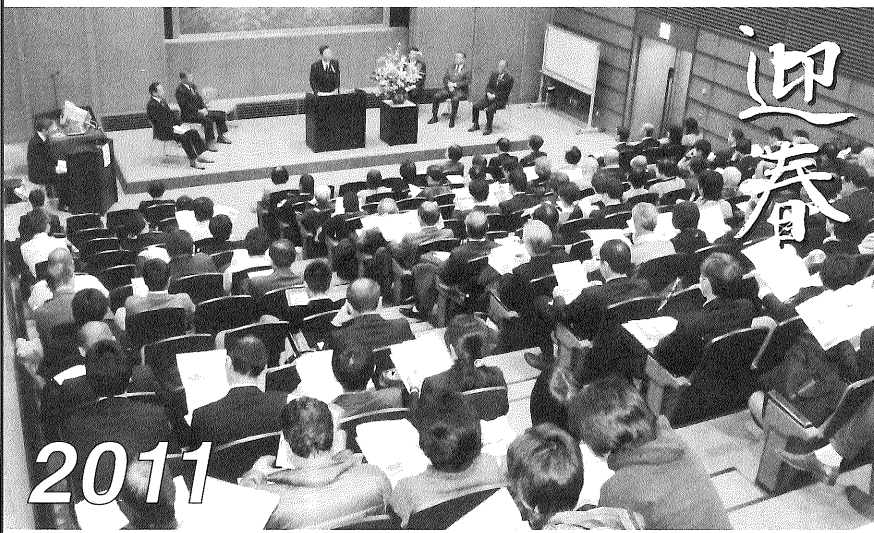
北方領土返還に関する様々な情報交換の場として開催されています。全国会議での議題の一つに、「北方領土問題教育者会議」に関する取組みがあります。平成十五年から全国に「北方領土問題教育者会議」が設置され、教諭への啓発や学校教育における北方領土教育を推進する取組みを行っています。

土の一部を上映した。その後、杏林大学総合政策学部教授 斎藤元秀氏による「ロシア・双頭政権は北方領土問題をどう考えているか」というテーマでの講演を頂いた(講演要旨 別掲)。

推進委員報告(その二) 北方領土返還要求運動は、国の行政としては内閣府北方対策本部が所管しており、ロシアとの交渉窓口は外務省が担っています。また、国土交通省では、北方領土隣接地域の振興施策を行っています。さらに、独立行政法人北方領土問題対策協会(北対協)が国民運動の窓口として、元四島居住者への支援などを行っており、我々の県民会議も北対協より支援を受けてながら活動しています。

はロシアの土地だと言いつつ、日産サファリの四輪駆動で国後島を視察しました。メドヴェージェフ大統領は、北方領土に対するロシアの実効支配の強化に努め、領土問題では厳しい姿勢を示しながら、経済協力を基軸に日露関係を進展させようと対日メッセージを送っているのです。

帝政ロシア領ということで日本とロシアの国境が画定しました。北方領土は日本固有の領土なのです。ロシアにとつては北方四島の対日返還にかなりかたねない条約です。プーチン・メドヴェージェフ双頭政権は、日魯通好条約を無視していません。それでは何をもちてロシ



盛況だった県民大会

2011

迎春

ア側が北方四島は自国のものだと主張しているかといいますが、その根拠は一九四五年二月に結ばれたヤルタ協定という名の密約です。日本が知らないところでスターリン首相とルース大統領が結んだ密約で、日本に対して拘束力はありませんが、ロシア側はヤルタ協定を立派な国際協定と言っており、説得力はあります。

四五年八月九日、ソ連は日ソ中立条約を破って対日参戦し、南樺太、千島列島それに北方領土などを占領してしまいました。以来、北方領土はロシアに占拠されています。

現在、ロシアは五六年一月に調印された日ソ共同宣言に基づいて北方領土問題を解決しようと日本に対し揺さぶりをかけています。平和条約を結ばば日本に歯舞、色丹の小さな二島だけを返し、択捉、国後、ロシア領にして、これで領土問題に最終的に決着をつけようとしています。そういう話には乗るわけにはいきません。

東京宣言では、「法と正義の原則」を基礎として北方四島の帰属の問題を解決し、平和条約を早期に結ぶということが記されています。国後、択捉も交渉の対象になっていないので、ロシア双頭政権は、東京宣言を無視しようとしています。日本にとつてきわめて重要な文書です。

一九七二年、米国は沖縄を返してくれました。第二次世界大戦のさなかの一九四一年ルース大統領とチャーチル首相が署名した大西洋憲章では、今次の戦争で勝つても領土を拡大しないことが謳われました。世界大戦中にソ連も大西洋憲章を認めています。「領土不拡大の原則」に基づき、ひとと北方領土を日本に返してもらいたいものです。

統一ロシアという政党を作ったのもプーチンです。ですから、プーチン首相はロシアの議会を握っているといえるでしょう。メドヴェージェフ大統領はプーチン首相ほど議院に対し影響力はあまりありません。シロビキも大統領をあまり支持していません。北方領土問題を解決するためには、プーチン首相の同意が必要です。

メドヴェージェフもプーチンも、北方領土問題をロシアに有利な形でうまく解決したいと思っている点では変わりなく、色々日本に揺さぶりをかけています。近年、メドヴェージェフ大統領が独創的なアプローチで解決したいと麻生首相に提案したことがありますが、しかし、ロシア側が考えるのは大幅に譲歩するのは日本であつて、ロシア側ではありません。この点を留意する必要があります。

プーチン首相来日直後の二〇〇九年六月、我が国の衆参両院は全会一致で北方領土問題等解決促進特別措置法(北特法)を改訂しました。そしてそのなかに北方領土は日本固有の領土で、ロシアは北方領土を不法占拠している点を明記しました。こうした主張は従来からのものですが、改訂北特法の採択にロシア側は激しく反発しました。そして七月、メドヴェージェフ

大統領は九月二日を第二次世界大戦終結の日とする法に署名しました。日本に第二次世界大戦の敗戦国だということを意識させるため、やんわりと変化球を投げたのです。

もう一つ見逃すことができないのは、今年の九月十七日のメドヴェージェフ訪中です。共同声明を二つ出しました。そのなかの一つは第二次世界大戦の終結六十五周年を記念するもので、第二次世界大戦における「連帯」をアピールしました。新聞報道では、北方領土問題と尖閣諸島問題で中露の足並みがそろっているという記事が目立ちました。中露両国は互いの立場を明確に支持しているわけではありません。

大統領は九月二日を第二次世界大戦終結の日とする法を作ったのもプーチンです。ですから、プーチン首相はロシアの議会を握っているといえるでしょう。メドヴェージェフ大統領はプーチン首相ほど議院に対し影響力はあまりありません。シロビキも大統領をあまり支持していません。北方領土問題を解決するためには、プーチン首相の同意が必要です。

メドヴェージェフもプーチンも、北方領土問題をロシアに有利な形でうまく解決したいと思っている点では変わりなく、色々日本に揺さぶりをかけています。近年、メドヴェージェフ大統領が独創的なアプローチで解決したいと麻生首相に提案したことがありますが、しかし、ロシア側が考えるのは大幅に譲歩するのは日本であつて、ロシア側ではありません。この点を留意する必要があります。

プーチン首相来日直後の二〇〇九年六月、我が国の衆参両院は全会一致で北方領土問題等解決促進特別措置法(北特法)を改訂しました。そしてそのなかに北方領土は日本固有の領土で、ロシアは北方領土を不法占拠している点を明記しました。こうした主張は従来からのものですが、改訂北特法の採択にロシア側は激しく反発しました。そして七月、メドヴェージェフ

ロシア双頭政権やサハリン州政府は北方四島を日本に返さないためのキャンペーンを推進しています。ロシア側は以前から北方四島周辺海域は豊かな漁場であると言ってきましたが、最近では、北方領土周辺海域は天然ガスやレアメタルなども豊富だと主張するようになってきました。北方領土の魅力をもっと具体的に言いつつ、ロシア国民が北方領土の対日返還に反対するよう促しているのです。ですから、日本の方も、一層の工夫をして北方領土の重要性を日本国民に説明し、北方四島返還運動を盛り上げる必要があると思います。

一日も早い北方領土の返還実現に向けて、日本はどうしたら良いのでしょうか。日本は対口戦術を再構築する必要があるので、北方領土にすり寄りたくない北方領土問題が持ち上がらないと思いがちですが、メドヴェージェフ大統領は天然ガスや石油に頼った経済構造を近代化しないとだめだと考えていることに気づく必要があります。産業、ITや省エネ、バイオを含み日本からさまざまな技術を導入したらいいと思つておられるのです。北方領土返還実現のため、我が国が持っている経済・技術力などをうまく使ってロシア側と交渉する必要があります。

ロシア双頭政権やサハリン州政府は北方四島を日本に返さないためのキャンペーンを推進しています。ロシア側は以前から北方四島周辺海域は豊かな漁場であると言ってきましたが、最近では、北方領土周辺海域は天然ガスやレアメタルなども豊富だと主張するようになってきました。北方領土の魅力をもっと具体的に言いつつ、ロシア国民が北方領土の対日返還に反対するよう促しているのです。ですから、日本の方も、一層の工夫をして北方領土の重要性を日本国民に説明し、北方四島返還運動を盛り上げる必要があると思います。

一日も早い北方領土の返還実現に向けて、日本はどうしたら良いのでしょうか。日本は対口戦術を再構築する必要があるので、北方領土にすり寄りたくない北方領土問題が持ち上がらないと思いがちですが、メドヴェージェフ大統領は天然ガスや石油に頼った経済構造を近代化しないとだめだと考えていることに気づく必要があります。産業、ITや省エネ、バイオを含み日本からさまざまな技術を導入したらいいと思つておられるのです。北方領土返還実現のため、我が国が持っている経済・技術力などをうまく使ってロシア側と交渉する必要があります。

下です。中国の「人口圧力」を感じています。ひょっとしたらロシア極東やシベリアも中国のものになるかもしれないと思つていまも、それから、ウラジオストクやハバロフスクも、もともと中国領でしたので、ヒョットすると中国が取り返す動きを見せるかも知れないと恐れている人もいます。

日本の進んだ技術や資本が欲しい、ロシア極東やシベリアを本格的に開発したい。中国は怖い。こういう状況です。北方領土問題を解決し、キチンと平和条約を締結しなければ、日本政府としてはなかなか次の違う協力はできないとロシア側に思わせる必要がありそうです。北方領土の返還要求をする際、日本の主張の法的正当性をメドヴェージェフ大統領やプーチン首相にきちんと説明し、相手側の理解を得られれば北方四島は自ら日本に還つてくると思つておられる方がいらっしゃるかもしれません。日本の立場の正当性を説明するだけでは十分ではありません。やはりあの手この手でロシア側を攻め、領土問題と経済協力問題をたくみにリンクさせて、ロシアと交渉すべきです。

また次のことも考慮に入れる必要があります。実は中露はそれほど仲が良くないという事です。お互いに疑心暗鬼で付き合っています。近年中国の力が強くなってきており、ロシアは中国と仲の良いそぶりを見せていますが、実はかなりの不信感を持っています。こういった点をしっかりと念頭に置いて、日本は北方四島の返還のための外交戦術を再構築すべきなのです。

プーチン首相はロシアの議会を握っているといえるでしょう。メドヴェージェフ大統領はプーチン首相ほど議院に対し影響力はあまりありません。シロビキも大統領をあまり支持していません。北方領土問題を解決するためには、プーチン首相の同意が必要です。

メドヴェージェフもプーチンも、北方領土問題をロシアに有利な形でうまく解決したいと思っている点では変わりなく、色々日本に揺さぶりをかけています。近年、メドヴェージェフ大統領が独創的なアプローチで解決したいと麻生首相に提案したことがありますが、しかし、ロシア側が考えるのは大幅に譲歩するのは日本であつて、ロシア側ではありません。この点を留意する必要があります。

プーチン首相来日直後の二〇〇九年六月、我が国の衆参両院は全会一致で北方領土問題等解決促進特別措置法(北特法)を改訂しました。そしてそのなかに北方領土は日本固有の領土で、ロシアは北方領土を不法占拠している点を明記しました。こうした主張は従来からのものですが、改訂北特法の採択にロシア側は激しく反発しました。そして七月、メドヴェージェフ

国民の声と熱意で四島(しま)返還

平成22年度 北方領土に関する標語 〈最優秀賞〉

兵庫県丹波市 村岡孝司氏

メドヴェージェフ大統領が北方領土へ行ったあと、先般横浜でAPEC首脳会議が開かれ、そのおりに露首脳会議が開かれました。首脳会議前に国後にメドヴェージェフ大統領が参りましたので、首脳会議の席で菅首相は不快感をもう少し強く表してもよかったです。ではないでしょうか。

ロシアは冷戦終結後メキメキと力をつけてきた中国を内心懸念していることも、指摘しておきましよう。中国はロシアの隣の大国で、人口は十三億人以上います。かたやバイカル湖以東に住んでいるロシア人は六五〇万人ほどで、東京都の人口の半分以下です。中国の「人口圧力」を感じています。ひょっとしたらロシア極東やシベリアも中国のものになるかもしれないと思つていまも、それから、ウラジオストクやハバロフスクも、もともと中国領でしたので、ヒョットすると中国が取り返す動きを見せるかも知れないと恐れている人もいます。

日本の進んだ技術や資本が欲しい、ロシア極東やシベリアを本格的に開発したい。中国は怖い。こういう状況です。北方領土問題を解決し、キチンと平和条約を締結しなければ、日本政府としてはなかなか次の違う協力はできないとロシア側に思わせる必要がありそうです。北方領土の返還要求をする際、日本の主張の法的正当性をメドヴェージェフ大統領やプーチン首相にきちんと説明し、相手側の理解を得られれば北方四島は自ら日本に還つてくると思つておられる方がいらっしゃるかもしれません。日本の立場の正当性を説明するだけでは十分ではありません。やはりあの手この手でロシア側を攻め、領土問題と経済協力問題をたくみにリンクさせて、ロシアと交渉すべきです。

また次のことも考慮に入れる必要があります。実は中露はそれほど仲が良くないという事です。お互いに疑心暗鬼で付き合っています。近年中国の力が強くなってきており、ロシアは中国と仲の良いそぶりを見せていますが、実はかなりの不信感を持っています。こういった点をしっかりと念頭に置いて、日本は北方四島の返還のための外交戦術を再構築すべきなのです。



東欧学会理事

「北方領土パネル展2011 IN かながわ」開催

■日時 平成23年2月15日(火) 12:00~17:00
 〃 〃 16日(水) 9:00~17:00
 〃 〃 17日(木) 9:00~15:00
 ※全日入場無料

■場所 かながわ県民センター1F 展示場

■内容 B2サイズパネル41点を展示・ビデオ上映・北方領土返還の署名等

■主催 北方領土返還要求運動神奈川県民会議

編集後記

今回の県民大会では、杏林大学 斎藤元秀先生の講演を聞き、中露共同声明や日本の外交力の問題が指摘されました。また大会では、参加者の方から「県民大会の決意表明がないのか」との指摘があるなど皆さんの力強い思いが伝わり、益々の努力を重ねなくてはならないと感じました。(綾井)

斎藤元秀氏

プロフィール

慶応義塾大学大学院法学研究科博士課程修了、コロンビア大学大学院政治学博士課程留学し、Ph.D.(博士号)取得。現在、杏林大学大学院国際協力研究科兼総合政策学部教授。北海道大学スラブ研究センター客員教授兼任。ロシア・東欧学会理事。